

**【復習】**

◎資料の値あたいの平均へいきんちを**平均値**とといいます。

平均値へいきんちは、次の式で求めます。

$$\text{平均値} = \text{資料の値の合計} \div \text{資料の個数}$$

◎資料の値あたいを大きさの順に並べたとき、ちょうど真ん中の値を**中央値**とといいます。資料の数が偶数ぐうすうのときは、真ん中の2つの値の平均を中央値とします。

◎資料の値あたいの中で、いちばん多く出てくる値を**最頻値**さいひんちとといいます。

◇平均値へいきんち、中央値さいひんち、最頻値さいひんちのように、資料の特徴を表す値あたいを**代表値**とといいます。

**【練習】**

1袋7個入りのみかんを買って、重さを量りました。みかんの重さは次のようでした。

103 g , 98 g , 95 g , 100 g , 103 g , 105 g , 103 g

① 中央値を求めましょう。

答え

② 平均値を求めましょう。

答え

③ 最頻値を求めましょう。

答え

答え **【練習】** ①小さい順にならべると、95 g , 98 g , 100 g , 103 g , 103 g , 103 g , 105 g

だから、中央値は103 g      答え 103 g

②  $(103 + 98 + 95 + 100 + 103 + 105 + 103) \div 7 = 101$       答え 101 g

③ 103 g